

# 墨田区議会 Liberal Democratic Party 自由民主党だより



■発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)  
■発行責任者/福田はるみ ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

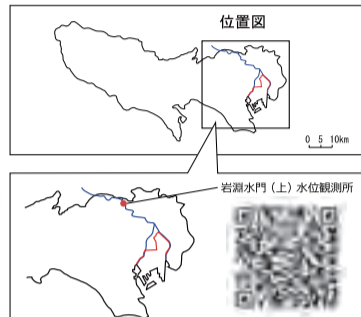
<http://jimin-sumida.jp/>

## 自民党が取組む すみだの防災 防災だより

### 墨田区水害ハザードマップ

荒川が氾濫した場合の浸水想定区域図  
(最大想定規模)

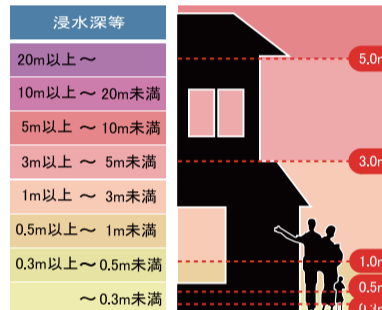
早期の立退き避難が必要な区域



原則、区外の浸水想定区域外に避難する

原則、区外の浸水想定区域外に避難する

浸水深さの目安(洪水)  
※墨田区内の最大浸水深 6.48m



原則、区外の浸水想定区域外に避難する



### 自民党が推進! 地震等で倒壊する 恐れがある ブロック塀把握を 急ぐべき!

大阪北部地震では「建築基準法違反や既存不適格のブロック塀」に児童1名が下敷きとなり死亡しました。この事態を受け、自民党は第二回定例会にて、学校施設だけでなく通学路や民有地の調査等、区内の危険個所の把握を求め、さらに第三回定例会で、ブロック塀に特化した補助制度の新設を求めました。区は自民党の要望を受け、小学校全25校の通学路に面する民間のブロック塀等の状況について全戸調査を行いその内容を分析。調査結果を取りまとめ、危険なブロック塀所有者への対応等、児童の安全確保対策を進めています。

### 自民党が推進! 江東5区大規模水害ハザードマップの周知を!

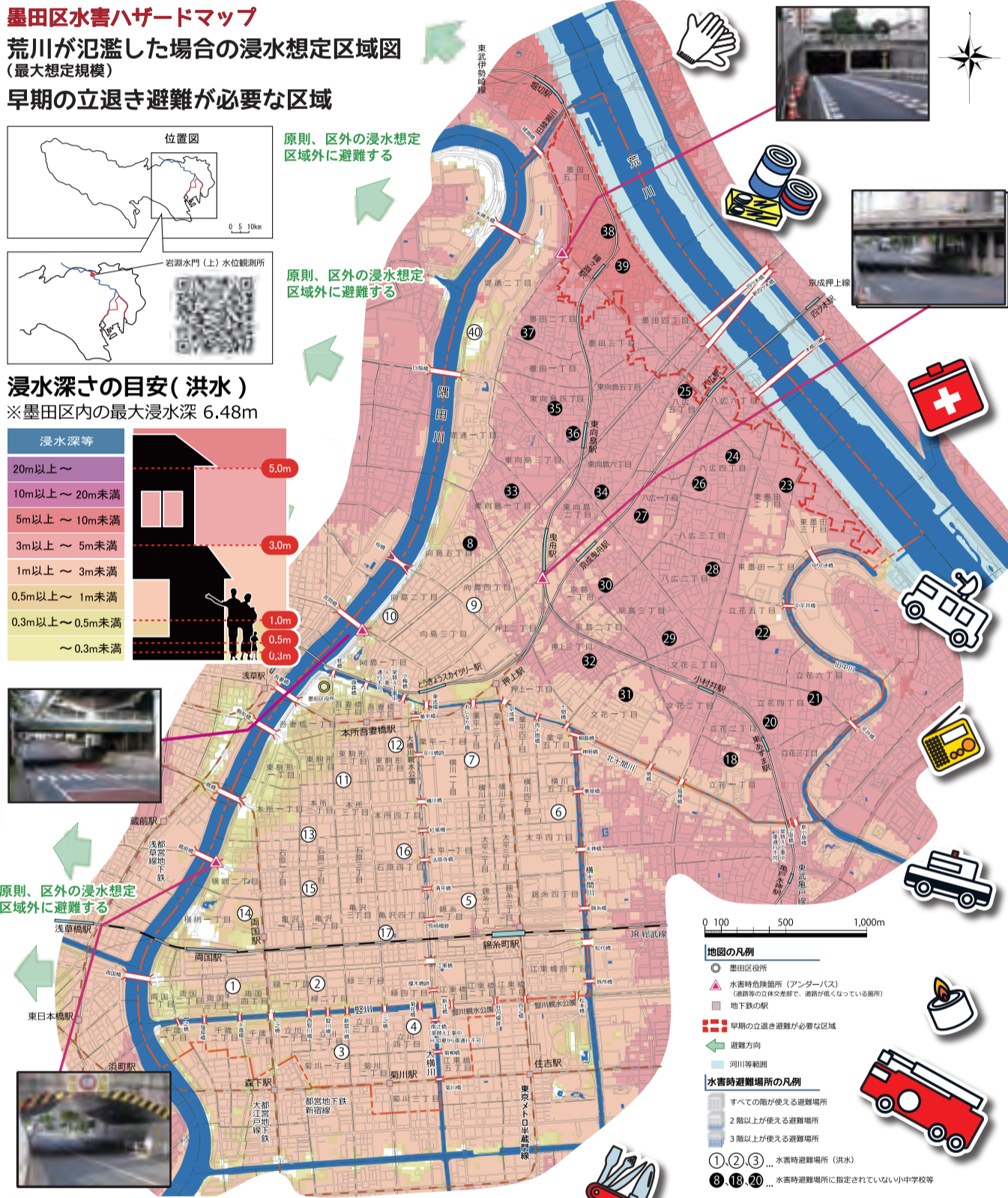
江東5区(墨田・江東・江戸川・葛飾・足立)広域避難推進協議会は、想定する最大規模の降雨により荒川と江戸川が氾濫した時の洪水浸水予測と広域避難計画を掲載した「江東5区大規模水害ハザードマップ」の配布を行いました。広域避難計画では、大規模災害から命を守るためには、情報収集と各自の早め早めの行動、近隣県への事前避難が重要だと結論づけています。広域避難は区民の十分な理解が必要です。自民党は周知の強化を強く訴えました。同時に、本区が新たに対象となった荒川下流域での「タイムライン※」についても、区として必要な対応を取り、結果を検証するよう求めました。

【知っておこう】上に掲載の墨田区災害ハザードマップは、下記URLまたは、QRコードからダウンロードできます。 [http://www.city.sumida.lg.jp/anzen\\_anshin/katei\\_tiikinobousai/kouzui\\_hm1.html](http://www.city.sumida.lg.jp/anzen_anshin/katei_tiikinobousai/kouzui_hm1.html)

【旬ワード】タイムライン 災害発生時の危険を関係各機関が評価・共有し、先手を打っていく防災行動。「いつ」「誰が」「何を」を明確化し、時間軸に沿って整理されるのが特徴。9月30日、台風24号列島横断の際、JR私鉄各社が計画運休を行ったことが記憶に新しい。台風21号では、関西に拠点を置く主要企業が相次いで臨時休業を決定し、外食チェーンや百貨店でも多くが営業を見合わせた。企業活動などに大きな影響を及ぼす一方で、運行途中の電車が駅間で止まるなどの混乱を防ぎ、乗客の安全を確保する防災タイムライン。異常災害が頻発する中、こうした事前の運休告知が定着していく流れである。

### 自民党が推進! 学校体育館へのエアコン整備ですみだの防災機能向上を!

大規模地震等の災害の際、学校施設は児童生徒や教職員の身の安全を確保するとともに、地域住民や帰宅困難者の避難所としての役割を担っています。こうした背景から、学校施設は災害時に必要な耐震性の確保に加え、避難生活に必要な諸機能を備えておくことが重要です。近年の気象状況の変化から、避難所のエアコン整備が喫緊の課題となる中、現在区立学校では教室にエアコンが整備されているものの、体育館は未整備です。自民党は、区立小中学校体育館にエアコンを設置し、本区の防災機能を強化すべきと強く要望しました。自民党の要望を受け、区は、財源の確保等、導入に向けた課題を含め、一定の条件整理のもと計画的な導入に向けた検討を開始します。



0 100 500 1,000m

**地図の凡例**

- 墨田区役所
- ▲ 水害時危険箇所(アンダーパス)  
(道路の立体交差部で、道路が低くなっている箇所)
- 地下鉄の駅
- 早期の立退き避難が必要な区域
- 避難方向
- 河川等範囲

**水害時避難場所の凡例**

- すべての階が使えらる避難場所
- 2階以上が使えらる避難場所
- 3階以上が使えらる避難場所
- ①②③... 水害時避難場所(洪水)
- ⑧⑮⑳... 水害時避難場所に指定されていない中学校等

名	荒川浸水想定区域図
作成主体	国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
作成年月日	平成28年5月30日
前後となる降層	荒川流域の72降層総雨量 632mm (水防法の規定により定められた想定最大規模降層)

### INDEX

- 【1】 自民党が取組む「すみだの防災」
- 【2】【3】 本会議での質問一覧 常任委員会ダイジェスト
- 【4】 議員表彰のご報告 東京2020大会 公認プログラム 決算特別委員会が開催されています ●議員紹介

# 本会議での質問一覧

## 本会議代表質問



墨田区議会議員  
中沢えみり

※「災害・防災対策」についての代表質問は表紙に掲載しています。

### 環境問題にかかわる墨田区の取り組みについて

問1 すみだ環境の共創プランにおける対策として温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまちを目指す。具体的にどのような目標値達成へと進めていくのか取り組みを問う。

答1 温室効果ガス排出量やエネルギー消費量の数値を算定し、目標の達成に向け、温暖化防止対策を進める。家庭や事業所で設備機器の更新や建物の新築・改修の際に、省エネルギー型の設備を導入するよう啓発する。オールすみだで省エネルギー行動を実践するよう情報提供や行動支援を行い、環境負荷の低減に向けて東京都とも連携しながら取り組む。

問2 諸外国において海洋プラスチックごみをなくす取り組みを進める動きがある。本区も自らの生活スタイルの中で行動に移せるような具体的な環境教育を進めるべきであると考えが区の考えを問う。

答2 生活のなかで具体的に行動に移せるような環境教育が重要。ペットボトル等のプラスチックごみ問題は、日常生活で我々が意識や行動を変えることで環境への負荷を低減できると考える。環境学習として、小中学校の児童・生徒を対象に、出前講座等を実施する。今後も暮らしの中で環境に配慮した行動が取れるよう、区やボランティア、事業者が協働で、環境問題を学ぶ機会を作り意識啓発を図る。

問3 環境問題については世界各国共通の課題としてあげられているため、本区も観光施策の中に環境の視点を取り入れ、環境先進区であるイメージを内外に発信する必要があると思いがいかか。

答3 訪日外国人等に環境先進区としての取組みを積極的に紹介する。東京2020大会に向けて、本区の先駆的な取組みである「雨水利用」の紹介や、区内を訪れる観光客に、打ち水体験、クールスポットの情報発信等を行い、環境を観光資源としてアピールしていく。

### 教育施策について

問1 墨田区立学校不登校対策基本方針について方針内容を含め具体的な対策について進捗を問う。不登校の起因調査をされているのか現状を問う。

答1 学校から毎月報告を受けている。文部科学省「児童・生徒の問題行動等に関する調査」でも不登校の要因を調査している。今回の方針策定に向けて、区立学校の不登校児童・生徒の状況について分析を行った。要因としては「不安」「無気力」「人間関係」が多く、「内向的」「周囲の刺激に敏感」「感情表現が苦手」などの性格・行動傾向が多く見られた。障害傾向の有無について調査していないが、これらの要因や傾向の背景には、対人関係に関わる障害や、起立性調節障害などがある場合も考えられる。児童・生徒一人ひとりの発達特性等を捉えることは適切な指導・支援を行うための重要な手

かりで、不登校対策を含め、すべての教育活動において有効なことである。各校配置のスクールカウンセラー等専門家と連携して把握に努め、不登校対策に取り組む。周囲の理解は学習等による教育活動を通して理解を促す。

問2 幼児教育無償化について実際に本区においてはどのような影響が予想されるのか。

答2 待機児童数及び事務量の増加が予想される。今まで区が入園等で関与していなかった児童にも、新たな支給認定事務が発生する他、これら施設に係る保護者補助金の支給に係る事務量も増加する。保育料や補助金等の事務に係る大幅なシステム改修等も必要になるため、事務負担も増加する。今後も国の動向を注視し情報収集に努める。

問3 質の高い幼児教育を保障するとはどのような状況を目指すということなのか。

区長答弁：新しい幼稚園教育要領、保育所保育指針等が全面実施となり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が明確に示された。小学校就学前の教育を通し、可能な限りこの「10の姿」に近づけていくことが重要と認識しており、教育委員会とも連携し、質の高い幼児教育を保障できるよう努める。

教育長答弁：無償化については幼稚園入園の希望が増えること等が予想される。幼児教育の保障に関しては、前述の「10の姿」を具体化し、就学前の幼児に可能な限りバランスよく身に付けさせていくことが質の高い幼児教育の保障に繋がると認識する。幼児期に身に付けた資質や能力が小学校教育で生かされることは確かであり、「10の姿」を、日々の保育の中で意図的に組み込み、幼児の発達を促す状況を目指し、幼児教育の質を高め保障する。

※「幼児教育の終わりまでに育ってほしい10の姿」とは



### 北十間川・隅田公園観光回遊路の整備について

問1 高架下を含め周辺の具体的な利活用の進捗を問う。東武鉄道に対しては墨田区の意向をしっかりと主張していただきたいと強く求める。今後の利活用について他企業や住民、地域の力をどのように活用されていかれるのか。北十間川水辺活用協議会について具体的に問う。

答1 都・区・東武鉄道の関係者間で、ビジョンや整備イメージを協議してきた。引き続き、地域の活性化に繋げるよう区の意向を主張する。今後の利活用について、様々なイベントに対応するとともに、災害時の避難場所としても活用できる広場空間を確保し、明るく開放的で多くの方が集えるエリアと、日本庭園や史跡と、豊かな緑のなかを散策できるエリアを併せ持つ公園として整備する。北十間川水辺活用協議会は、水辺とその周辺における利活用や賑わいに向けた地域の取組みなどの諸課題について、テーマごとに設置する2つの部会により検討していく。エリアマネジメントは、東京スカイツリーと浅草を結ぶ当該地域周辺にふさわしい賑わいを創出するため必要である。隅田公園や親水テラスを含む当該エリアが育んだ豊かな地域資源の活用と区内の拠点地域との連携を図るため、エリアマネジメントの考え方を取り入れていく。

他、◎幼児の危機管理教育について ◎障害者雇用率について ◎学童クラブについて ◎30年度の都区財政調整交付金等財政面について等質問した。

一般会計補正予算、陳情、区内中小企業振興施策の充実、大学誘致の進捗状況や、職員の障害者雇用率、学童クラブの待機児童対策、北十間川・隅田公園の水辺活用等、本区を取り巻く課題について、活発な議論を展開しました。



写真左より／瀧澤良仁委員、中沢えみり副委員長、しもむら緑委員

## 産業都市委員会

### 区内中小企業に対する振興施策の拡充について報告がありました

チャレンジ支援資金と小規模企業資金の融資限度額が拡充されます。融資は、居住に関わらず区内で起業する方全員が対象です。私達は、真に地域に根差した企業が育つ仕組みとするため、①区内在住で起業される方には融資要件の緩和等の支援を、②区外在住の方には起業後、交流会や地域貢献など積極的に関わっていただけるような制度の見直しを訴えました。また、同時に住工混合による課題を踏まえ、「ものづくりのまち」を守る施策を区長に強く問いました。



写真左より／木内清委員、佐藤篤委員長、樋口敏郎委員

## 区民福祉委員会

### 区役所における障害者の雇用について厳しく指摘し改善を求めました

区役所は法律に基づき、障害者を定数の2.5%雇用する義務が課せられています。国においてこの水増しが問題になったところですが、残念ながら本区でも規定違反が見つかり、法定雇用率を充足していないことがわかりました。自民党としては「法を順守すべき区の姿勢として問題」と厳しく指摘し、一日も早く数字を満たすよう強く求めました。区役所以外で働く障害者の工賃向上を含め、障害者の雇用を守っていきます。

一般質問



墨田区議会議員 木内 清

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

問1 現在、墨田区では「あしたのジョー」による機運醸成のためのPR活動を各種行っており、区民の間に「墨田区は国技館でボクシング」という認識は広まってきている。一方で、オリンピックでのボクシング競技の開催自体が不透明との各種報道がある。現在の状況は。

答1 11月末から12月初めに開かれるIOC理事会において、ボクシング競技の実施の可否も含めて審議される予定となっているので、引き続き、大会組織委員会や東京都と連携を密にして情報収集に努める。

問2 昭和39年当時、私は10才で経験したが、聖火リレーが7月10日から24日の15日間で都内62自治体すべてを通過するとの報道発表があった。各日の最後に行われるセレブレーションや区内ルートなどの検討状況は。

答2 本年中にリレールート案や、セレブレーション会場案が選定される

一般質問



墨田区議会議員 沖山 仁

防災対策

問1 東日本大震災で実際に避難所運営を行った仙台市では、その経験を踏まえて非常に実践的な地域防災計画や避難所運営マニュアルを作成している。その中で、関係者による事前協議の上で、市民センター等の公共施設を補助避難所、地域集会所等を地区避難施設と位置付けることが可能としており、発災当初から活用することを想定している。

一方、墨田区では、すみだ生涯学習センター、みどりコミュニティセンター等の公共施設について、①帰宅困難者の一時滞在施設とする②避難者が多く、指定避難所で収容しきれない場合に避難所として開設するとしているが、積極的な活用は想定されていない。区内の大型公共施設は、エアコンを完備し、一部ではエレベーターやシャワー等の設備を有しており、真夏や真冬の災害時には、エアコンの無い学校体育館よりも高齢者や乳幼児、その他災害時要配慮者にとっては避難所として適しているため、地域防災計画で活用を位置付けるべきではないか。

予定。東京都による各自治体への意向確認調査に対し、通過希望スポットとセレブレーション会場候補地となることを希望する旨の回答を行った。ランナーの募集時期や人数等具体的なことは2019年に決定する予定。加えて、大会まで2年を切った現在でも、オリンピック・パラリンピックの機運醸成という面では、未だに区民の間の盛り上がりにかけている点を指摘した。

介護予防

問1 現在、墨田区で行っている介護予防普及啓発事業として「高齢者パワートレーニング教室」等を行っているが、各講座1回しか受講できない。効果を実感し、区の事業を離れてでも指導の継続を希望しても、日程や場所、費用面で実施が難しい現状である。また、自主的な活動についても施設の使用料が高額で規模を広げられない。区内の公共施設において、本所地域プラザのように指定管理者の自主事業として介護予防事業のフォローアップ講座や、自主的な活動を稼働率の低い部屋や時間帯で行えば、これらの課題を乗り越え、介護予防の取り組みがより広がることが期待できる。区長に自主的な活動を行っている方々や介護予防事業の指導者の方々と、指定管理者との連携を進めてほしい。

答1 指定管理者が運営する施設において、稼働率の低い部屋や時間帯に、介護予防活動の利用が増加するような自主事業を実施できないか、指定管理者と協議をした上で、自主事業の実施や、近隣地域のなかで活動している指導者の協力を求めていく。

その他、退職幹部自衛官の危機管理部門への採用について質問した。

問1 各公共施設の設備状況や災害対策本部職員による救護体制等の課題も踏まえたうえで、避難施設としての活用について検討していく。

商店街の活性化

問2 江戸川・江東・足立・葛飾の墨田区以外の江東五区では、それぞれの商店街振興組合が10%程度のプレミアム分を付けた区内で使用できる商品券を発行している。プレミアム商品券を使用するために区内の商店に来店し、額面以上の消費をしようという事で売り上げ増につながるほか、商店街では他店への来店機会が増えるため、全体の活性化につながるなど、区民による区内消費の喚起に一定の効果を上げている。また、プレミアム分は通常の発行し、商店街でのイベントの景品として活用している例がある。また、現在は現金で支給している長寿祝い金や、記念品を贈呈している産業功労者表彰や環境改善功労表彰についても商品券で提供することで、区内での消費につながるほか、記念品を特定の事業者に発注するよりも効果が広がることを期待できる。墨田区で発行すると、プレミアム分10%と事務費を区の予算で賄うことになるが、区内経済の活性化という観点から、墨田区商店街連合会と共に、継続的な発行の検討を。

答2 墨田区商店街振興組合連合会からは、他区の事例のようなプレミアム付商品券を継続的に発行できるように、要望を受けている。今後、どのような方法で実現できるか、同連合会と検討していく。また、継続的な商品券の発行が可能となれば、現金や記念品を贈呈する事業において、商品券を贈呈することも検討できるため、福祉施策と産業施策を連携させるような取組みを考えていく。

その他、クレジットカードや電子マネー等、キャッシュレス化への商店街の対応について質問した。

常任委員会ダイジェスト



写真左より/沖山仁委員、坂下修委員長、福田はるみ委員

企画総務委員会

マイナンバーの普及、小梅橋架け替え、大学のあるまちづくりについて。

コンビニストア等にて戸籍証明等の交付が始まる為マイナンバーカードの普及について区民の皆様へ周知徹底するよう意見しました。小梅橋架け替え工事が落札された経緯を確認し、デザインについて特色のある橋になる様に意見を述べました。千葉大学とi専門職大学2校と企業団体との連携に向けて説明会が開催されました。今後は墨田のものづくりと交流が持てる等今後の取組みについて議論しました。



写真左より/田中邦友委員、加藤拓委員長、坂井ユカコ委員

地域子ども文教委員会

全町会・自治会実態調査、中間報告で地域コミュニティの抱える課題が顕在化。

町会長への詳細な聞き取り調査で、規約や法人格の有無、会館の所有状況と共に、役員の高齢化、行事の参加率低迷等、深刻な課題が顕在化。調査結果は地域の課題解決への重要な材料であるため、12月の最終報告は、会長と役員様に確実に行き渡るよう求めました。わが会派の要望によって平成28年7月から、転入者全員に町会加入案内が郵送されるようになりました。今後も町会自治会の持続的な活性化を政策面でサポートしてまいります。

### 決算特別委員会が開催されています。

**平成29年度決算特別委員会を  
10月19日(金)から11月7日(水)までの  
延べ8日間開催しています。**

議会は、毎年区長から出された予算案を審査し、決定(議決)しますが、その予算が実際にどのように使われたか、使い方は適正で妥当かを翌年審査するのが決算特別委員会です。委員会は12名で構成され、わたしたち自民党からは、しもむら緑委員長・坂下修委員・樋口敏郎委員・福田はるみ委員・加藤拓委員・坂井ユカコ委員の6名が選出されました。1日の制限時間は議員ひとりにつき17分で、自民党は毎日102分質疑を行います。決算特別委員会での議論は翌年の予算編成に影響するため、会派一丸となって調査研究等準備し、臨んでいます。



**・昨年の様子**

午前10時から、区役所17階第2委員会室で開催。委員会はどなたでも傍聴が可能で、携帯やパソコンから実況映像も視聴可能です。

### 会派議員2名が受賞いたしました。ここにご報告申し上げます。

坂下修議員に、平成30年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状が贈呈されました。



坂下 修議員

樋口敏郎議員が、平成30年度東京都功労者表彰(地域活動功労)を受賞しました。



樋口 敏郎議員

### 丸い土俵が四角いジャングルに! 2020年夏、ボクシング競技が国技館で開催!

開催まで2年を切り、墨田区は「あしたのジョー×すみだ」プロジェクトが盛りだくさん! 両国国技館周辺の整備等、東京2020大会へ向けた準備が急ピッチで進んでいます。

**東京2020公認プログラム 注目イベント!**

#### オリンピック・パラリンピックに向けたボクシング競技解説講座(全3回)

ボクシング競技を深く知ることができる入門講座。トップ選手からリアルな話を聞いたり、実際にグローブをはめてミット打ちを体験など、ボクシング競技観戦の楽しみ方が大きく広がります。

【日時】1回目:10月27日(土)  
競技解説やボクシング観戦の楽しみ方  
2回目:11月 4日(日)トップ選手の体験談  
3回目:11月11日(日)体験(ミット打ち)  
\*各日とも10:00~12:00  
【場所】すみだ生涯学習センター B棟2階 マスターホール

詳しくは▶ <https://www.sumidayutoriya.com/>

## We Take Action! 私たちは実現します!

## すみだ区議会自由民主党 所属議員紹介



田中 邦友

- 監査委員
  - 地域子ども文教委員会
  - 災害対策特別委員会
- ☒ 八広1丁目39番17号  
☎ 03-3616-7014



木内 清

- 区民福祉委員会
  - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 亀沢2丁目12番3号501号室  
☎ 090-3060-8434



坂下 修

- 決算特別委員会
  - 企画総務委員会委員長
  - 災害対策特別委員会
- ☒ 向島3丁目18番10号  
☎ 03-3625-1810



瀧澤 良仁

- 墨田区議会議長
  - 産業都市委員会
  - 災害対策特別委員会
- ☒ 墨田5丁目33番4号  
☎ 03-3611-4003



中沢 えみり

- 副幹事長・議会運営委員会委員
  - 産業都市委員会副委員長
  - 災害対策特別委員会
- ☒ 堤通1丁目5番9号  
☎ 080-5008-9930



福田 はるみ

- 幹事長・議会運営委員会委員長
  - 決算特別委員会
  - 企画総務委員会
  - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 業平4丁目5番16号  
☎ FAX 03-3618-6125



樋口 敏郎

- 副幹事長・議会運営委員会委員
  - 決算特別委員会
  - 区民福祉委員会
  - 議会改革特別委員会委員長
- ☒ 八広3丁目6番3号  
☎ 03-3617-4129・090-6043-3869



沖山 仁

- 企画総務委員会
  - 都区制度改革等特別委員会
- ☒ 京島1丁目39番1号918号室  
☎ 03-3617-6558



坂井 ユカコ

- 決算特別委員会
  - 地域子ども文教委員会
  - 議会改革特別委員会副委員長
- ☒ 東駒形2丁目2番4号  
☎ 03-3622-7063・090-3617-4313



佐藤 篤

- 区民福祉委員会委員長
  - 議会改革特別委員会
- ☒ 京島3丁目18番4号  
☎ 090-8567-8293



しもむら 緑

- 決算特別委員会委員長
  - 産業都市委員会
  - 議会改革特別委員会
- ☒ 亀沢4丁目22番8号608号室  
☎ 080-2443-0212



加藤 拓

- 副幹事長・議会運営委員会委員
  - 決算特別委員会
  - 地域子ども文教委員会委員長
  - 議会改革特別委員会
- ☒ 緑1丁目2番12号503号室  
☎ 050-1334-9640

お気軽にご意見をお寄せください。  
墨田区議会自由民主党

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

